

業況DIは、コロナ禍からの活動回復が進み、改善
先行きは、コスト増や外需停滞等から、厳しい見方

全産業合計の業況DIは、▲14.8(前月比+4.6ポイント)

●サービス業では、マスク着用ルール緩和による消費者意識の変化で、客足が回復した飲食・宿泊業を中心に改善した。小売業では、インバウンド需要の増加により売上が堅調な百貨店を中心に改善した。建設業でも、需要が増加する住宅関連の民間工事に下支えされ、改善した。一方、製造業では、電子部品関連の外需減退で横ばいに留まり、卸売業では、製造業関連の引き合い減少に加え、保管料等のコスト増も重なり、悪化となった。原材料・エネルギー価格の高騰等によるコスト増や人手不足、度重なる仕入価格の上昇に価格転嫁が十分に行えていない等、経営課題は山積するも、経済活動は回復が進み、中小企業の業況は改善した。

先行き見通しDIは、▲16.3(今月比▲1.5ポイント)

●経済活動の回復への期待感は伺える一方、業種を問わず原材料・エネルギー価格の高騰、人材確保に向けた賃上げ等によるさらなるコスト増が懸念される。また、海外経済の鈍化や人手不足による受注機会の損失で売上悪化も危惧される。政府の激変緩和措置はあるものの、度重なるコスト増に対する価格転嫁も十分に行えておらず、企業収益の圧迫が続いており、先行きは厳しい見方となっている。



業況DI (※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合)

	2022年				2023年			先行き見通し 4~6月
	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全産業	▲32.7	▲20.7	▲16.4	▲18.4	▲18.4	▲19.4	▲14.8	▲16.3
建設	▲23.6	▲29.9	▲22.9	▲27.2	▲25.1	▲31.9	▲24.5	▲23.9
製造	▲25.0	▲20.1	▲16.2	▲14.2	▲16.9	▲18.4	▲18.9	▲21.1
卸売	▲33.3	▲21.1	▲20.3	▲16.3	▲17.3	▲16.4	▲22.4	▲21.9
小売	▲40.9	▲29.4	▲23.9	▲32.1	▲27.1	▲25.9	▲19.5	▲18.7
サービス	▲39.0	▲8.1	▲4.5	▲7.0	▲8.8	▲8.6	2.8	▲2.2

5月の会 議 所 カ レ ン ダ ー

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	月	広報委員会	22	月	経営講演会「業務スーパー創業からの学び」、青年部 新年度会
12	金	(無料)法律相談	23	火	(無料)不動産相談
16	火	異業種 令和5年度定時総会、金融相談	26	金	加環研 総会
19	金	(無料)法律相談	6/1	木	第69回優良従業員表彰、令和5年度第1回常議員会

【個別経営相談会】 9・10・16・17・23・24・30・31日

●「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)

●無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問合せください。

⇒日本政策金融公庫による「金融相談」はWEBミーティング形式での相談となりますので、事前予約が必要です。(※)

⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、5月19日(金)までに予約が必要です。(☆)

《問合わせ・予約連絡先》※印：加古川商工会議所 電話079-424-3355
☆印：(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かがわ5月号

発行 2023年5月1日

発行人 加古川商工会議所
〒675-0064
加古川市加古川町溝之口800
TEL (079)424-3355(代表)
FAX (079)424-7157

印刷所 加古川印刷事業協同組合

広報委員の“つぶやき”

コーヒーにハマっています。朝に煎った豆を持参して、始業前に飲むのですが、毎日淹れてようやく自分好みが見つかりました。「自分なり」大切にしています。

「今月の“こんな日”」

●ヨーグルトの日(15日)

ノーベル生理学・医学賞を受賞したイリア・メチニコフ博士がヨーグルトに含まれるブルガリア菌が老化予防に役立つということを研究し発表、ブルガリア菌を使ったヨーグルトが健康に良いと世界に広まりました。日にちは博士の誕生日(1845年5月15日)から。